

CASE 8

電気・ガス・
熱・水道業

九州電力株式会社

社会インフラを支える企業として、従業員の地域貢献活動を支援

取組の ポイント

- 社会インフラを支える企業として、社員の地域貢献に対する意識の向上を図っている
- 地域貢献活動・ボランティア活動が従業員の充実感、満足感を得る機会となっている



取組の目的・概要

- 社員一人ひとりが、企業人であると同時に地域社会の一員であるとの認識のもと、社員がボランティア活動に積極的に取り組める環境づくりに努めることとし、その支援策の一つとして、1993年にボランティア休暇制度を導入した。
- 国、地方公共団体又は社会福祉法人が主催、共催、協賛又は後援する社会福祉活動に参加するとき、あるいは国、地方公共団体又はこれに準ずる公的機関が主催、共催、協賛又は後援する地域活動の公式会合若しくは行事（事前の研修、説明会等を含む）に正式役員として参加するときに、年間で7日以内の法定外の特別休暇を取得することができる。
- 申請に当たっては、主催者から参加者に宛てた行事・会議等の招集文書などを提示するものとし、付与の認定は上長が個別に行う。
- 長年、地域貢献活動を続けているため、会社へボランティアへの参加要請がくることが多い。自分で参加したいボランティアを探して、休暇を申請することもできる。
- ドナー（骨髄液・角膜・臓器の提供者）として登録、検査又は入院するとき（配偶者、1親等の親族及び同居の親族に対するドナーを除く）にも、所要日数を有給の休暇として取得することができる。

企業概要

[設立] 1951 年
[事業内容] 電気・ガス・熱供給・水道業
[所在地] 福岡県福岡市
[従業員数] 13,053 名 (2017 年 3 月現在)

[年次有給休暇の取得率] 80.5%
[年間休日数] 128 日
[URL] <https://www.kyuden.co.jp/>

取組内容と特徴

継続的な企業としての地域貢献活動が従業員の地域貢献意欲の向上にも寄与

- ・社会インフラを支える企業として、創業以来、地域社会の発展と地域の信頼関係が持続的発展の基盤であるとの認識のもと、2006年4月に地域貢献活動を行う上での指針として「地域・社会共生活動基本方針」を制定し、さまざまな地域・社会共生活動に取り組んできた。特に「環境活動」、「次世代育成支援活動」、「地域の課題解決活動」を重点活動として、グループ全体で取組を推進している。
- ・企業として継続的に地域貢献活動を行っていることで、従業員の地域貢献への意欲も自然と高まっており、自ら率先して地域貢献活動やボランティア活動に参加する従業員も多い。
- ・このような経緯から、会社、従業員の双方の立場からボランティア休暇へのニーズが高まり、1993年にボランティア休暇制度を導入した。当初は5日間の休暇制度であったが、その後の取組の拡大等もあり、現在は7日間の休暇制度となっている。

地域貢献活動や表彰制度から従業員の満足度も向上

- ・会社として従業員の地域貢献活動への参加を支援するため、ボランティア休暇の導入以外にも、活動費用補助、社内掲示板での情報提供などの環境づくりを行っている。ボランティアに関する情報は、社内掲示板で気軽に情報を発信することができ、情報発信時に、ボランティア休暇の適用について記載することとしている。

- ・2014年2月に開催された「北九州マラソン」では、北九州支社エリアの事業所から総勢53名がコース運営ボランティアとして参加した。終了後、参加者からは「市を盛り上げる行事に一役買えて充実した気持ちです。」「一生懸命走るランナーを見てこちらが勇気をもらった。」等の声があがっている。
- ・2013年10月～11月に開催された「2013佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」では、佐賀支社エリアの事業所からボランティアスタッフとして12名が参加した。ここでも「自分たちも選手と同じクルーとして参加しているような感覚で、楽しみながら活動することができました。」等の声があがっている。
- ・このように、ボランティア休暇を活用した地域貢献活動は、地域貢献のみならず、参加した従業員の満足感や充実感を得る機会の提供にもつながっている。
- ・また、長期間にわたる地道な地域社会貢献活動を表彰する「地域社会貢献者表彰制度」というものがあり、2015年度からは短期間の多種多様なボランティア活動も表彰対象に加えている。
- ・これらの制度を活用するなどして、2016年度は延べ約5万人の従業員がボランティア活動に参加しており、ボランティア休暇取得実績は433日、地域社会貢献者表彰は26人となっている。

年度	2013	2014	2015	2016
ボランティア休暇取得実績(日)	146	258.5	147	433
地域社会貢献者表彰(人)	19	16	20	26

制度利用者の声

- ・2017年7月にボランティア休暇を利用し、北部九州豪雨災害の復旧ボランティアに参加しました。平日のボランティアが不足するため、休暇を取得しました。被災地は出身地であったこともあり、何かしら地元のために役に立ちたいと思っていたため、参加することができて良かったと思います。
- ・バルーンフェスタのボランティアに事務局として参加しました。地域活動に協力できたことに加え、他企業のボランティア参加者や事務局の方と交流することができ、とても満足しています。ボランティア休暇制度があることで、地域活動に参加しやすいと思います。

